

## 第二回入札監視委員会の審議概要

独立行政法人空港周辺整備機構

開催日及び場所	平成19年7月3日(火) 午後1時30分から午後3時30分 空港周辺整備機構 大阪国際空港事業本部 第一会議室			
委員	委員長 西川 賢二(弁護士) 委員 柳原 健治(公認会計士) 委員 松村 暢彦(大阪大学大学院准教授)			
審議対象期間	平成18年4月1日から平成19年3月31日			
抽出事案	総件数5件	(備考)		
内 訳	一般競争			工事2件
	指名競争			工事1件 コンサルタント2件
	随意契約			該当なし
委員からの意見・質問、それに対する空港周辺整備機構の回答	意見・質問	回 答		
	別紙のとおり	別紙のとおり		
委員による意見の具申又は勧告の内容	な し			

## 委員からの意見・質問、それに対する空港周辺整備機構の回答

意見・質問（委員）	回答（空港周辺整備機構）
<p>【調査基準価格を下回った入札】</p> <p>○ 入札参加者38社のうち36社が予定価格以下、更にそのうち15社が調査基準価格以下の応札となっているが、積算が甘いのか、又は特殊事情があるのか。</p> <p>【一般競争・工事】 （大阪国際空港周辺緑地（豊中I）勝部地区雨水排水整備工事）</p> <p>○ 価格交渉方式の導入経緯と今後の実施予定は。</p> <p>（福岡空港周辺ネットフェンス設置工事）</p> <p>○ 低入札価格調査においては、低価格で施工可能とする合理的理由を整理すべきである。</p> <p>【指名競争・工事】 （大井地区再開発整備事業道路整備工事）</p> <p>○ 予定価格270万円に対して落札額170万円、最高応札額510万円と差が大きく施工に疑問も感じられることから、低入札価格調査の対象外であっても、低価格の理由を確認すべきではないか。</p> <p>【指名競争・コンサルタント】 （建物等調査算定業務・緑大第9次）</p> <p>○ コンサルタントの場合、工事に比べて応札額が接近している理由はどのようなことが考えられるか。</p> <p>【まとめ】 審議を参考にして、一層公正で透明な事務手続きを実施することを期待する。</p>	<p>○ 積算は基準に基づいて行っており妥当なものである。機構に限らず国においても低入札が増えている状況から、不適格者の排除について議論されているところである。 結局のところ、業者の受注意欲の高さが低入札の一因だと認識している。</p> <p>○ 中部空港建設を端緒に関空や成田といった大規模事業に際して用いられた方式で、平成17年度から試行を行ってきた。 しかしながら、機構発注の工事規模では費用に対する効果が少なく、通常的一般競争で十分に競争原理が働くことから、試行を中断したものである。</p> <p>○ 調査において確認した内容を、第三者にも分かりやすい表現で記載するよう努める。</p> <p>○ 履行不能も危惧されたことから、聞き取りを行ったうえで施工可能と判断した。結果としても施工がなされたものである。</p> <p>○ 工事の場合、資機材の調達方法、地理的要因、同時受注工事の有無等の要因で企業努力により価格を抑えられる場合がある。 一方、コンサルの場合、原価の多くを人件費が占めていることから、工事に比べて応札額の差が小さいものと思われる</p>